

平成29年大磯町議会

3月定例会総括質疑（2月24日）

質問議員	質問事項
<p>1 6番 奥津 勝子議員 (40分) 9:05～9:45</p>	<p>1. 平成29年度の特に力を入れていく力点ということで、今まで進めてきた事業の取り組みを継続して、それ等を充実させていく。また、新たな重点事項として「防災・減災」「農業」を加えた。新たな課題に対しても「決断」をしながら「実現」に向けて進めていくとの強い決意を感じた。 そこで伺う。</p> <p>(1) これまで継続して進めてきた「子育て」「教育」「健康」「観光」の4つの重点項目に「防災・減災」「農業」を加えた6つの重点項目への具体的な対策に「ひとづくり」と「まちづくり」が重要と考えます。」とあるが、「ひとづくり」「まちづくり」への具体的な予算づけはどのようにされたのか。</p> <p>(2) 新たに「防災・減災」と「農業」を加えた。総合計画の中にも地域防災体制の強化として、「地域防災力を高め、安全・安心なまちづくりを推進する為、地域の防災体制を充実・強化するとともに防災意識の高揚に努めます。」とあり、消防団を中心とした地域防災力の向上、自助・共助による地域防災活動への取り組みの推進とある。</p> <p>また、「農業」対策には、活力と個性あふれる産業の振興として経営基盤の強化、生産・流通環境の充実、農地の保全と有効活用とうたわれている。施政方針からの具体的な予算づけを伺う。</p>

<p>2</p> <p>1 番 坂田よう子議員 (40分) 10:05～10:45</p>	<p>1. 人口ビジョン・総合戦略を重視した「決断」と「実現」について</p> <p>平成 29 年度予算は、総合計画と大磯町人口ビジョン・総合戦略の取り組みとの整合性を図りながら、「子育て」「教育」「健康」「観光」の 4 つの重点事項を継続的に力点とし、さらに「防災・減災」「農業」を新たに加えるとした。また、「ひとづくり」「まちづくり」を主眼にそれら 6 点の重点項目を連帯・連動させ、人口ビジョン・総合戦略の目的である「交流人口の増加と定住人口の安定化」の実現を図るとされた。</p> <p>この「決断」と「実現」を具体的に如何に果たすか。</p> <p>2. 子育て支援政策に対する展望を問う</p> <p>人口ビジョン・総合戦略の大きな柱に「大磯で若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」戦略がある。町は昨年度から重点的にこの戦略を意識してきた感がある。平成 29 年度予算にさらなる強化策を加え如何なる展望を図るか。</p> <p>(1) 保育料の第 2 子以降無料化の効果と周知について。</p> <p>(2) 認定こども園の強化と新たなる認定こども園の計画内容について。</p> <p>(3) 朝の子どもの居場所づくり事業の効果的運用について。</p> <p>(4) 学童保育への保護者負担の軽減と放課後子ども教室の発展的な運用について。</p> <p>(5) (仮称) 東部子育て支援センターの計画内容について。</p> <p>(6) 作業療法士の配置等支援・相談体制の充実について。</p> <p>3. 空き家対策・起業・創業支援に対する展望を問う</p> <p>人口ビジョン・総合戦略「大磯に仕事をつくり安心して働けるようにする」の目標達成は如何に推移するか。空き家対策・起業・創業支援に対する具体的な施策を伺う。</p> <p>4. 総合教育会議における検討事項への対応について</p> <p>学校教育の現場における教員の多忙化などにより、子どもたちと向き合う時間をどのように確保するかが大きな課題となり、昨年より総合教育会議で検討がなされてきた。喫緊の要事、戦略上の重点課題とし、いかなる具対策を打っていくか。特に、中学校部活動の状況は黙認できない。部活動外部指導者派遣事業や部活動顧問派遣事業の取り組み等を積極的に講ずるべきではないか。</p>
---	---

<p>3</p> <p>15番 柴崎 茂議員 (40分) 11:05~11:45</p>	<p>1. 町民の生命・財産は守られているか。また、行政が行うべき仕事は何かという視点で行う。</p> <p>(1) 農地が荒廃する原因にもなっているイノシシ対策にどのような予算措置しているか。</p> <p>(2) 電話利用の特殊サギの被害者は65才以上の高齢者が多いと聞く。町の防災無線での注意もあるが、一向に減る気配がない。何の考えも示さないのは他人事と考えているからに他ならない。どのような対策をして町民を被害から守るのか。</p> <p>(3) 火葬料補助金さえ半分に減額しなければならない町が、どこに「大磯港みなとオアシス（賑わい交流施設）」整備などする余裕があるのか。空き家対策など町が行う事業でないのは明白だ。なぜ行政が民間がやるべき事に口をはさむのか。特定なだれかへの便宜か。</p>
--	---

4

12番
鈴木 京子議員
(40分)
13:00~13:40

1. 中崎町政2期目の2年目の予算編成で、かなりの町長の公約に関する事業立てが、住民同意があるかは別として、見えてきたと考える。子育て支援の分野は拡充、教育分野や高齢者福祉は必要な施設改修をのぞきソフト面では横ばいだが、観光関連が突出している予算編成と受け止める。

町長はこれからの町政にも責任を持つ立場にあるが、このまま進めていくと後年持続可能な町政運営ができなくなる可能性がでてくると考える。そのような観点から、総括質疑を行う。

(1) 特別会計も含めた予算全体を、最低社会保障を担保する事業と町独自の施策とに分けると、それぞれの総額はどのようになるのか。また、目的別費目で分けるとどうなるか。それらの財源確保はどのようになされるのか、概算でよいので、歳入の費目を使いながら説明を求める。

(2) 29年度は旧吉田茂邸オープンで維持管理費が計上されている。観覧料で収入を見込むものの、人件費はかかる。後年指定管理になったとしても、委託料に代わるだけで町負担がどれだけ減るのかは不明である。この上、みなとオアシス・賑わい交流施設建設をすれば、町独自施策による次世代への負担が増えることは明白である。賑わい交流施設建設や駅前整備の調査委託によって、ますます事業費が膨らむ。その際、事業の収支を見通したうえで町の財政運営への影響を町民や議会に説明すべきだが、どのように行うのか。

(3) 教育予算の件で、義務教育に係る経費をPTA会費に頼らず全額町負担を求めたが、29年度予算はどうなったか。

(4) 町民要望は多岐にわたるため、単年度では解決できない。しかし、見通しをたて説明することは必要と考える。例えば、生活道路の補修など、できるところからオープンな形で議論をする仕組みはつくられるか。

(5) 職員の職場環境改善は喫緊の課題だが、29年度予算でどのような手立てがとられるのか。

<p>5 13番 渡辺 順子議員 (40分) 14:00～14:40</p>	<p>1.町長は平成29年度予算の施政方針で第4次総合計画後期基本計画の仕上げに向かって「決断」と「実現」の決意を述べられた。その中でこれまでの継続事業と新規事業について、次の点について質問する。</p> <p>(1) 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について、事業の進め方と財政見通しは。</p> <p>(2) 道路台帳補正更新事業の内容は。</p> <p>(3) 国府本郷西小磯1号線整備事業の内容と計画段階からかかった総事業費は。</p> <p>(4) 大磯港みなとオアシス推進事業のこれまでにかけた費用と今後の展望は。</p> <p>(5) 旧吉田茂邸再建事業について、再建事業は終了したが今後の維持管理の見通しは。</p> <p>(6) 旧東海道松並木敷維持管理事業について、今後の進め方は。</p> <p>(7) 高齢者福祉計画(介護保険事業計画)、障がい福祉計画の改定の考え方は。</p>
--	---

5名 8問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。